

分類	項目	目的	概要	使用機器	使用サンプル	サンプル条件	内容
エピゲノム解析	ATAC-seq	サンプル特異的に機能する転写制御因子を予測	オープンクロマチン領域のゲノムワイド機能解析	MiniSeq (ライブラリQC) + HiSeq	ヒトまたはマウスの体細胞・組織	組織の場合：25mg以上 細胞の場合：50,000個以上	実験 解析 実験 + 解析
	ChIP-seq	サンプル特異的に機能するオープンクロマチン領域や転写制御因子を予測	転写因子やクロマチン関連タンパク質などに対応するDNAを分析する	HiSeq		組織の場合：6g以上 細胞の場合：15,000,000個以上	実験 解析 実験 + 解析
	FFPE ChIP-seq	サンプル特異的に機能する転写制御因子を予測			DNAメチル化レベルのゲノムワイド機能解析	ヒトまたはマウスの体細胞・組織 (固定されているもの)	組織の場合：6g以上 細胞の場合：15,000,000個以上
	RRBS	サンプル特異的に機能する転写制御因子を予測	組織の場合：25mg以上 細胞の場合：500,000個以上	実験 実験 + 解析			
	Targeted Bisulfite Sequencing	サンプル特異的に機能する転写制御因子を予測	組織の場合：25mg以上 細胞の場合：500,000個以上	実験 + 解析			
メタゲノム解析	16S rRNA	サンプル群間で存在比に差のある微生物を予測	微生物叢の分布解析	MiniSeq (V4アンプリコン) MiSeq (V3-4アンプリコン)	環境サンプル(土や水)、食品、糞便、体組織(肌や体液)	DNAの場合：1μg以上 50ng/μl以上 OD1.6以上 サンプルのままの場合：要相談	実験 解析 実験 + 解析
発現解析	RNA-seq	サンプル特異的に発現する遺伝子を予測	mRNAのゲノムワイド機能解析	HiSeq	total RNA	4μg以上 200ng/μl以上 OD1.6以上	実験 解析 実験 + 解析
	マイクロアレイ (GeneChip 3' IVT Expression)	遺伝子発現量を網羅的に解析	遺伝子発現量のゲノムワイド機能解析	GeneChip		1μg以上 100~500ng/μl	実験・解析
	腫瘍プロファイリング	特定遺伝子のみをリサーチ ケンシング	癌関連15遺伝子を対象 illumina社のTruSight tumor15利用	MiniSeq	total DNA		実験
	ターゲットリサーチケンシング		疾患関連4,813遺伝子を対象				
	Targeted RNA-seq	特定遺伝子の発現を定量	専用パネルを用いた特定遺伝子の発現定量	MiniSeq	total RNA	4μg以上 200ng/μl以上 OD1.6以上	実験
Small RNA-seq	Small RNAの定量	NGSによるsmall RNA (17~34bp)の定量					
ゲノム解析	Whole genome sequencing	全ゲノムを調べる	ゲノムのワイド解析	HiSeq	total DNA	3μg以上 30ng/μl以上 OD1.8以上	実験
その他	その他	メニュー以外の実験・解析、デザイン・実施		ご相談			